

わたしたちができること

あなたの周りにもLGBTの人が…

言わない（言えない）だけで、あなたの周りにもLGBTの人がいるかもしれません。「ホモ／レズ／オカマ」などの言葉を使わないようにし、交際相手について話題にする時には「彼女／彼氏」ではなく「恋人／パートナー」と使うなど、いるという前提での会話をしましょう。

本人の了解なく他人に公表しない…

相談やカミングアウトをされるのは、あなたが信頼されている証です。カミングアウトされて悩んだら、専門機関に相談しましょう。

6色のレインボーカラーを身につけて、性的マイノリティの理解者（アライ）であることを示しましょう！



相談窓口

| 窓口名 | 電話番号 | 開設時間 |
|----------------------|--------------|-------------------------------|
| 性的マイノリティのためのにじいろ電話相談 | 084-951-5250 | 毎月第3水曜日15:00～18:00 (祝日を除く) |
| 多様性社会推進課 | 084-928-1006 | 平日8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く) |

他団体の相談窓口

| 施設名 | 電話番号 | 開設時間 |
|----------------------------|---------------------------|----------------------------------|
| エソール広島 (公財)広島県男女共同参画財団) | 082-207-3130 ※LGBT相談専用 | 毎週土曜日10:00～16:00 (祝日、年末年始を除く) |

性的マイノリティについて考えよう

LGBTって知ってますか？



Lesbian
レズビアン

同性を好きになる女性



Gay
ゲイ

同性を好きになる男性



Bisexual
バイセクシャル

両方の性を好きになる人



Transgender
トランスジェンダー

身体の性と異なる性を
生きる（たい）人



6色のレインボーカラー

LGBTを含む性的マイノリティに理解を示すシンボルカラーとして世界中で使われています。

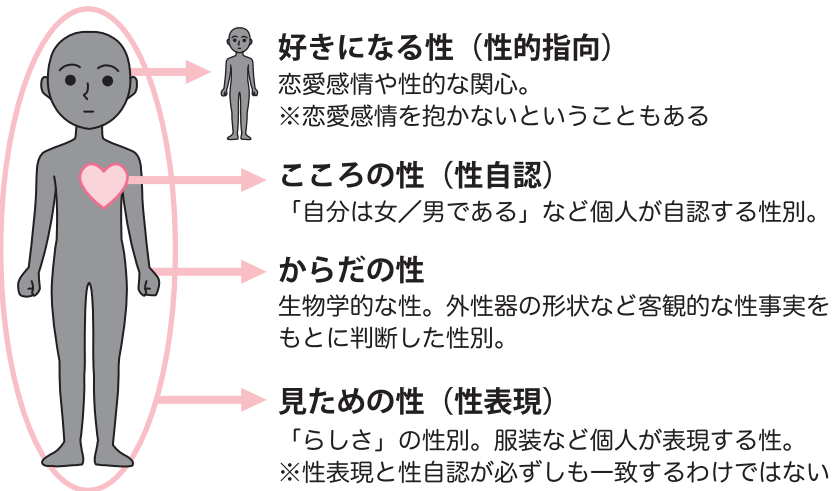
【発行・問合せ先】 福山市多様性社会推進課
〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
TEL 084-928-1006 FAX 084-928-1229
MAIL tayouseisyakai-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市

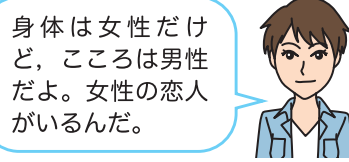
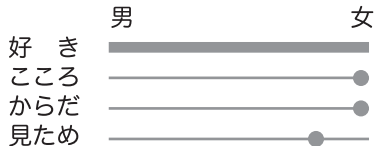
LGBTは表紙にあるそれぞれの頭文字をまとめたもので、性的マイノリティ（性的少数者）を表す言葉の一つとして使われています。その他にも、恋愛感情を抱かない「Aセクシュアル」や性自認を男女いずれかとは認識しない「Xジェンダー」など多種多様なセクシュアリティが存在します。

セクシュアリティ（性）とは

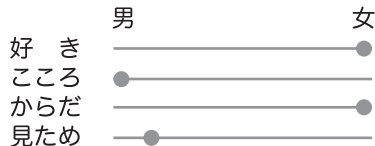
セクシュアリティ（性）は多種多様です。その構成要素を次の4つの要素に分けて考えてみましょう。この組み合わせは多様であり、そのため、性はグラデーションとも言われます。



身体もこころも女性です。好きになる人の性別にこだわりはないな。



身体は女性だけど、こころは男性だよ。女性の恋人がいるんだ。



いないのではなく、気づいていないだけ

調査対象や調査方法によって、その数値は異なりますが、ある民間の調査によると、日本では人口の8.9%、11人に1人は性的マイノリティであるという結果が出ています。これは、左利きの人（8～15%）、AB型の人（10%）などとほぼ同じ割合です。

性的マイノリティであるかは外見では判断できません。そのため、あなたの周りにも、見えないところで傷ついている人がいるかもしれません。

LGBTの人たちはどんなことに悩んでいるの？

カミングアウト（自分自身のセクシュアリティを打ち明けること）したら「からかわれるのではないか」「言いふらされるのではないか」など、差別や偏見を恐れて悩んでいます。

また、日常生活のさまざまな場面でも困難を抱えています。具体的には次のような悩みがあります。

学校では…

- ・ 恋愛感情を抱く対象が異性を前提としている教材
- ・ 健康診断や宿泊行事への参加
- ・ 校則で定められた男女別の髪型や服装

会社では…

- ・ パートナーがいても事実婚とはみなされず利用できない制度
- ・ 履歴書に書く戸籍上の性別と見た目が違うため就職に不利

日常生活では…

- ・ 男女別のトイレや更衣室など
- ・ 不動産契約などで条件により住居を借りられない
- ・ パートナーが入院したとき親族でないと説明や面会が受けられない
- ・ 災害時の避難施設でパートナーと家族スペースで避難生活を送れない